

contents

特集 NPO活動と女性

インタビュー 特定非営利活動法人 NPO サポートセンター 理事長 山岸秀雄さん …… 2p

事例紹介1 特定非営利活動法人 キッズドア 理事長 渡辺由美子さん …… 4p

事例紹介2 特定非営利活動法人 みんなのことば 代表理事 渡邊悠子さん …… 5p

第13回中央区ブーケ祭りを開催しました! …… 6p

Bouquet Information 講座・イベントの報告・募集・お知らせ …… 10p

TOPICS 講演と映画のつどい/女性センター「ブーケ21」へ来てみませんか? … 12p

ブーケ



中央区ブーケ祭り  
実行委員の皆さん



講師 神田すみれ講演会

中央区ブーケ祭り  
実行委員会企画



みんなで遊ぼう!  
さくらんぼ種飛ばし大会



“男女共同参画カルタ”でカルタ大会

No. 74  
2014.9

# NPO活動と女性

近年、経済成長の担い手として女性の活躍が期待されていますが、女性の視点や能力は地域活動や社会貢献活動の担い手としても一層重要性を増しています。

特集では、NPOを立ち上げて活動する女性をテーマに、NPOの役割やNPOの立ち上げ、NPOにおける女性の活躍と今後への期待などについて、特定非営利活動法人NPOサポートセンター理事長の山岸秀雄さんにお話を伺うとともに、実際にNPOを立ち上げて活動されている二人の女性にお話を伺いました。

## 阪神淡路大震災を契機に 注目をあびる

日本のNPOは、1995年の阪神淡路大震災を契機に一気に注目をあびるようになりました。個人、団体を問わず多くの人がボランティアとして支援活動に携わったからです。アメリカではボランティア活動の90%近くがNPOのもとで行われています。日本でもボランティア活動や市民活動を発展させようと、1998年に特定非営利活動促進法ができました。

私はアメリカでNPOを調査した経験から、日本にもNPOをつくろうと活動していました。1993年に日本最初のNPO支援組織として、NPOサポートセ

ンターをつくり、特定非営利活動促進法の制定にも奔走しました。

## ミッションをもって 社会貢献を行う

NPOは自分たちのミッション(使命)をもち、社会貢献活動を行う団体です。「非営利」とありますので、利益を得てはいけなと思われれるかもしれませんが、そうではありません。非配当の原則があるだけです。たとえば会社とNPOが有料のパソコン教室を開いた場合、同じように利益を得たとしても、NPOは配当をしないということです。

どんな組織でも運営資金がなければ組織はつぶれますので、NPOも自分たちのミッションを実現するために、組織をつくり、資金を集

めて活動します。

## 女性にとってNPOは 社会活動をする手段となった

NPOはいわば社会参加の道具ですが、その道具を使ってまず最初に活躍したのが女性の皆さんです。女性は、社会を良くしよう、社会と関わろうというエネルギーにあふれていました。女性にとってNPOは社会活動をする手段の一つになったのです。小規模でも雇用が発生しますので、女性が女性の雇用を生み出し、女性の社会参加を拡大していきました。

女性の活動は、今でもそうですが福祉分野が比較的多くなっています。子どもや高齢者など目の前で困っている人を助けたいという思

いから始まっています。NPOはトータルにその人が幸せになる方法を考えて柔軟に活動することができますので、対象となる人にとってもきめ細やかなサービスを受けることができます。

## NPOを立ち上げるには 社会貢献と同時に経営者になること

NPOを安易につくろうとする人はいないと思いますが、立ち上げたいと思ったらそれなりの覚悟をもって始めることが大事です。ミッションを支持してくれる人がどれくらいいるかなどマーケティングをして、自分のミッションや社会貢献性と資金の面のバランスを考えると大切です。社会貢献をすることが大切です。社会貢献をしながら同時に経営者でもあるので、その自覚をもち、資金を獲得するノウハウを習得することも必要です。

自分が社会のためにやりたいことがあれば、企業に勤めるのではなくNPOでスタートすることもできます。学生の時に始めている人もいますし、この数年は、若い人たちが新しいセンスでNPOをつくっています。もちろん会社を辞めてフリーになってNPOをつくる人もいます。日本は企業社会ですから、企業で働く経験をしてお



## 山岸秀雄さん

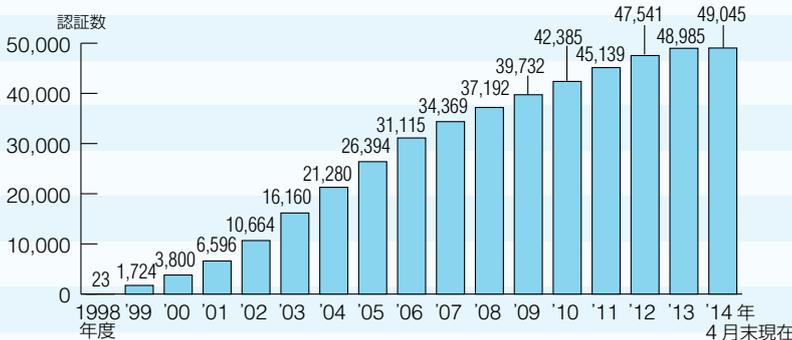
特定非営利活動法人 NPO サポートセンター 理事長  
法政大学大学院教授

### 山岸秀雄さん (やまぎし・ひでお)

1946年生まれ。法政大学社会学部卒業。日本電信電話会社（現在の NTT）等を経て、1993年に日本で最初の NPO 支援組織 NPO サポートセンターを設立、以来、NPO と行政、企業とのパートナーシップの具体化に向けた協議、提言活動を推進している。なお特定非営利活動法人 NPO サポートセンターは、協働ステーション中央の事業運営を行っている。著書に、『アメリカの NPO』（編著、第一書林、2000年）、『イギリス非営利セクターの挑戦』（共編著、ミネルヴァ書房、2007年）、『ソーシャル・エンタープライズ』（共編著、丸善、2008年）などがある。

## NPO 認証数の推移 (全国)

日本の NPO は急速に増えています。



※認証法人数は、各年度末の法人数を示す。資料：「NPO 法人ポータルサイト」(内閣府)

## 活動分野別にみた NPO 法人数 (中央区)

主たる事務所が中央区にある NPO 法人の数は 640 です。活動分野では「社会教育」、「保健・医療・福祉」、「国際協力」、「学術・文化・芸術・スポーツ」などが多くなっています。

活動分野	法人数※	活動分野	法人数※
(1) 保健・医療・福祉	264	(13) 子どもの健全育成	207
(2) 社会教育	355	(14) 情報化社会	87
(3) まちづくり	175	(15) 科学技術の振興	72
(4) 観光	8	(16) 経済活動の活性化	162
(5) 農山漁村・中山間地域	7	(17) 職業能力・雇用機会	132
(6) 学術・文化・芸術・スポーツ	246	(18) 消費者の保護	71
(7) 環境の保全	189	(19) (1)~(18)で掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡・助言・援助	422
(8) 災害救援	49	(20) (1)~(18)で掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市の条例で定める活動	0
(9) 地域安全	61		
(10) 人権・平和	81		
(11) 国際協力	258		
(12) 男女共同参画社会	54		

※活動分野ごとの法人数の合計は、1つの法人が複数の活動分野を掲げているため、主たる事務所が中央区にある NPO 法人の数とは一致しない。

資料：「NPO 法人ポータルサイト」(内閣府 2014年7月18日現在)

## よい出会いをするために自分自身が魅力ある人間になること

NPO は人が財産です。NPO を立ち上げたり運営していくには、よいパートナーや仲間と出会い、ネットワークをつくるのが大事です。

くことは、企業とやりとりをする上で役に立ちます。NPO はどんなに規模が小さくても社会貢献のために活動していますので、自己実現の面でも優れています。

## 女性の活躍に期待

特定非営利活動促進法ができて

そのためには自分が魅力ある人間になることです。人と情報はセットです。自分自身が魅力ある人間になれば、自ずと人も情報も集まってくる。自分が魅力ある人間になるために、まず自分を磨くことです。それは活動の面でもプラスになります。企業で働くことでは得られない出会いもあります。それも NPO 活動の醍醐味です。

16年が経ちました。NPO の数は急速に伸び、今や日本の NPO も社会や地域の課題解決にとって必要不可欠のところまで発展してきました。NPO は、社会参加の道具です。これを軸にして自分も活動し、まわりの市民も引き寄せながら一緒に社会参加することが要です。NPO の特性や役割を忠実に追求していくことが NPO の発展につながります。また、市民の社会参加を促進する面から、NPO

が社会や地域に政策提言することが重要な役割となっています。女性は、生活感覚がありますので、地域にある身近な課題を解決するために NPO をつくって事業化していくことに長けています。ネットワーキングよりも上手です。NPO 活動において女性がリーダーシップをとるのは非常にいいことだと思います。社会を変える原動力として、女性の活躍に大いに期待しています。

協働ステーション中央※に登録している団体から事例を紹介します。

事例紹介 1

「子どもの貧困」  
負の連鎖を断ち切りたい  
渡辺由美子さん

特定非営利活動法人 キッズドア 理事長



中央区との協働事業  
外国から来た子どもたちの  
学習支援の様子

渡辺さんの歩み

大学を卒業し、大手百貨店に就職。販促企画、イベント企画、出版などに7年間従事。この間、結婚をする。

退職し、出産・子育てをしながらフリーランスのマーケティングプランナーとして仕事を続ける。

夫の赴任に伴い、イギリスで1年間暮らし、「社会全体で子どもを育てる」ことを体験する。

2002年帰国し、日本の「子どもの貧困」を知る。支援活動をするため、2007年任意団体を立ち上げる。

2009年特定非営利活動法人キッズドアを設立する。

活動団体がなかったので自分で  
団体をつくった

上の子が幼稚園の年長のとき、夫の赴任に伴い1年間イギリスで暮らし、地域や社会が子どもを育てていきました。必要な経費はチャリティー格差を意識させることはありません。

帰国し、日本は子育てにお金がかかることに驚きました。お金がないために進学や習い事を諦める子どももいます。親の経済格差で子どもの可能性が失われていく、そうした負の連鎖を断ち切るために何かしたいと思いました。

はじめは支援活動ができる団体を

探したのですが、子どもの貧困という海外の子どもの支援ばかりで、日本の子どもの支援する団体が見つかりません。そこで、自分で任意団体をつくることにしました。帰国してから5年後の2007年のことです。

オフィスを借り  
銀行口座をつくった

任意団体からNPOへと一歩踏み出すことができたのは、現副理事長に出会ったことによります。彼は事業を興す人を支援しており、その紹介でレンタルオフィスを借りました。住所ができ、団体名ができ、名刺をつくりました。銀行口座もつくり、助成金の申請ができるようになりました。

任意団体設立から2年後の2009年に特定非営利活動法人の申請をしました。まさか自分でNPOを立ち上げることになるとは夢にも思っていませんでした。

最初の頃は日本の子どもの貧困が今ほど知られてなく、資金を集める

のが大変でした。それでも少しずつ助成金をいただくようになり、実績を積みこむことで信用も増し、次の活動資金につながっていききました。

子どもの貧困に取り組む  
ベースができた

キッズドアという名の通り、すべての子どもたちに希望がもてる社会への扉が開くように、教育支援に特化した活動を展開しています。メディアにとりあげられたこともあり、多くの人に知ってもらえるようになりました。2010年に活動に共感してくれた男性が加わり、事業が一層拡大しました。

全国で同じ活動をする人も増え、登録ボランティアの学生も1,000人を超えています。設立から5年、子どもの貧困に取り組むベースのようなものができたと感じています。

継続させることが大切

活動を続けていく上で大切なこと

は、継続させることです。どんなに良いことでも、自分なりスタッフなりだれかが無理をすると続きません。必要な資金を得て、安定した活動をするのが大事です。できないことを見極めることも必要です。

家庭や子育ての経験が役に立つ

NPOを立ち上げたいと思ったら、パソコンなどITの技術を得ることで、ボランティアもホームページで集めることができます。また、家庭での経験をいかにすることがたくさんあります。私も会社員としての社会経験だけでなく、子育ての経験が役立っています。家庭や子育ての現状から課題を見つけ、しっかりと視点にたって発信していけば活動につながります。立ち上げようと思ったから、くじけずに自分の能力を信じて諦めずにやり続けることです。

特定非営利活動法人 キッズドア <http://www.kidsdoor.net/>

事業内容：教育支援事業、東北復興支援事業、教育社会創造事業、情報発信事業  
活動内容：経済的に苦しい家庭、ひとり親家庭、児童養護施設や被災地に暮らす子どもなど、困難な環境にあっても、すべての子どもが夢を諦めず、将来に希望をもって活躍できる、それがあたりまえの社会になるように、企業・行政・法人・個人・学生のみならずと手を携えながら、広く活動しています。

※協働ステーション中央は、中央区区内での社会貢献活動の輪を広げ協働の普及促進を図るための拠点です。http://bit.ly/kyodo-station-chuo

# 「楽器を手にする子どもは武器を手にしなない」という言葉に支えられて

特定非営利活動法人 みんなのことは

代表理事

渡邊悠子さん

## 大学4年生、インターンから社長になる

大学生の時に、インターンシップを利用して、結婚式やイベントに音楽家を派遣する会社に入りました。私自身は音楽家ではありませんが、超氷河期の就職活動を働く経験をする中で乗り越えようと考えたのです。たまたま入った会社でしたが仕事が面白く夢中になって働きました。1年経った頃、社長が新しいビジネスを始めるため後任の社長を社内で募集しました。私は好奇心で手をあげたのですが、社員はだれも立候補せず、インターンの私が社長になりました。社長になったものの当初は社員の反発があつて大変な苦労をしました。大学4年生の時です。

## 一人でも多くの子どもたちにコンサートを届けたい

自分で経営をするようになり、生演奏を届けても結婚式やイベントのBGMではもったいないと考えるようになった。ちょうどその頃、子どもたちにコンサートを届ける機



幼稚園・保育園でのコンサート活動の様子

### 渡邊さんの歩み

大学2年生のとき、音楽家を派遣する会社にインターンとして入る。

大学4年生のとき、会社の社長公募に応じ社長になる。

経営をする中で、改めて事業について考え、小学校に入る前の子どもたちに生演奏を届け、感性を育てる機会を提供したいと模索する。

2009年特定非営利活動法人みんなのことはを設立する。音楽家も事業に共感してくれる人を集め直す。

会があり、生の演奏に初めて触れた時の子どもたちの素直な反応に感動しました。目が輝き、表情が変わり、中には踊りだす子もいます。会社に入った頃に出会った「ロンビアのウリベ大統領の「楽器を手にする子どもは武器を手にしなない」という言葉を実感した瞬間でした。音楽を楽しむ心をもつ子どもが増えれば世の中が変わっていくのではないかと、生で奏でる音楽には大きな力がある、そう感じました。

一人でも多くの子どもたちにコンサートを届けたい、生演奏に触れる体験を通して子どもたちの感性を育てる機会を増やしたいと思いました。早速、幼稚園や保育園に営業に行きましたが、コンサートのために予算を準備できるところは限られています。



ます。そこでNPOなら予算がないところでも賛同者の支援でコンサートを届けられるのではないかと考え、NPOを立ち上げることにしました。会社を辞め、音楽家も一から集め直しました。団体名は、ウリベ大統領の言葉に敬意を込めて、音楽は世界共通のコミュニケーションツールという意味の「みんなのことは」としました。

## 大事なことは、自分が信じたことをやり続けること

NPOでは、ただ生演奏をするというのではなく、子ども一人ひとりの表情を見て伝え、全身で音楽を感じ楽しんでもらえるプログラムをつくっています。音楽家自身も、子どもたちのいきいきとした反応に感動をもらっています。設立から5年経ち、活動に賛同してくれる人、一緒に活動してくれる人が徐々に増えました。少しずつですが、「未就学児が当たり前のように生演奏を体験できる社会は実現できる」と実感しています。

活動をする上で重要なことは、自分たちの使命をより多くの人に知ってもらい継続させることです。自分が信じたことを発信し、やり続けていくことが一番大事なことで感じています。

## 失敗で終わらせなければいい

NPOをつくりたいと思っても、失敗したらどうしようと躊躇するかもしれません。けれども失敗は長い過程の1つの通過点にすぎないので。実際に多くの子どもたちにコンサートを届けたいと思っても、活動資金が集まらず思う通りにできないことがあります。そこでやめてしまえば失敗で終わりますが、継続してそれを失敗にしなければいいのです。まだ私自身がチャレンジの途中ですが、そう信じています。

特定非営利活動法人 みんなのことは <http://www.minkoto.org/>

事業内容：「みんなのコンサート」活動、自主コンサート企画・運営、未就学児への文化教育の啓蒙

活動内容：プロの音楽家による生演奏の体験を通して、0～6歳の子どもたちの心と感性を育てる、参加型クラシックコンサート「みんなのコンサート」活動。年間約100か所の幼稚園・保育園へ届けています。ビジョンは「子どもにとって生演奏の体験が、わくわくする遠足のように、当たり前訪れる社会の実現」。

# ヶ祭りを開催しました！



中央区ブーケ祭り実行委員の皆さん

「職場で、地域で、家庭で働く女性たちへの応援歌」を合言葉に、男女共同参画週間（6月23日～29日）にあわせて開催される「中央区ブーケ祭り」。第13回を迎える今年は、「世代をこえて 笑顔の輪」をテーマに、6月20日、21日に開催されました。

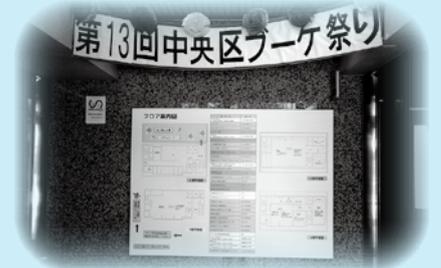
梅雨を忘れるような快晴のもと、会場となった女性センター「ブーケ21」は、29の参加団体によるプレゼンテーションやパフォーマンスなど、日ごろの活動成果が発表され、1,200人を超える来場者でにぎわいました。



オスビー市（スウェーデン）を訪れた時の様子を紹介しました。（オスビーの会）



イタリア歌曲などを歌いました。（アマービレ）



ブーケづくりと生け花を実演しました。（カトレアグループ）



大人の目にも心にも応え得る絵本を紹介しました。（エガリテ）



1年間の成果を展示しました。（かな書道を親しむ会）



ペットボトルを使った風鈴などを紹介しました。（エコ・ピーニング）



ブーケ祭り実行委員会会長 岸本裕子さんによる開会挨拶